|  |
| --- |
| 高校探究科No.09(K2) |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 |  | 組 |  | 番 |  | 名前 |  |

2017©Assumption-Kokusai

|  |
| --- |
| １．2学期の前半のプロジェクトの説明 |

１．プロジェクトテーマ

|  |
| --- |
| ・自分で「誰かのために何か行動する」プロジェクトを企画し、  　チャリティ・デーで実際に実行する。 |

２．プロジェクトの説明

|  |
| --- |
| * 「誰かのために何か行動する」プロジェクト   ここまでみなさんは世界や日本の課題について自分の発表や他の人の発表から学んできました。  2学期の前半はその知識をもとに「行動する」ことを目標にプロジェクトを行います。   * 「誰か」というのは、日本でも世界でもかまいません。「何かを行動する」とは例えば、服や文具を集める、募金を集める、現地のものを販売する、活動を紹介する・・などを想定しています。   (例)使わない服を集めてＵ社の服を途上国に送るプロジェクトに送る  (例)東日本大震災の被災地の企業の商品を仕入れて販売し、復興支援に協力する  (例)地域で活動するNPO団体に取材し、その活動を紹介し、協力する   * 「行動する」場としてチャリティ会場での行動を想定しています。掲示や販売する場として教室を１つ押さえています。皆さんから出たプロジェクトをポスターセッションでいくつかに絞り、行動はチームで行うことを想定しています。 |

３．プロジェクトの手順

|  |  |
| --- | --- |
| ①企画説明・調査１  ②調査２  **③企画**  ④発表・相互評価  ⑤実行準備  ⑥実行  ⑦振り返り | ・企画説明・社会にどんなプロジェクトがあるか調べる（1時間）  ・ボランティアとして行動している人の話を聞く（1時間）  **・個人でプロジェクトを企画する（1時間）**  **・企画したプロジェクトをポスターにまとめる（2時間）**  ・ポスターで発表・相互評価をする（1時間）  相互評価・実現可能性など審査し、プロジェクトを数案に絞る  ・プロジェクトごとのチームに分かれ、実行する準備（掲示物作成・仕入れなど）を行う（2時間）  ・チャリティ・デーで実行する（募金、販売、掲示など）  ・チーム・個人で振り返りをする（1時間） |

|  |
| --- |
| ２．企画　チャリティで行動することを企画を提案しよう　～企画書編～ |

STEP1　チャリティで行動する企画を提案しよう

|  |  |
| --- | --- |
| タイトル |  |
| 誰のため？ |  |
| どう行動  　　する？ |  |
| 説　　　明 | （例）生徒に呼びかけて不要な服を集め、途上国支援を行っている企業に集めた服を  送付することで難民支援する |
| 準備・手順 | （例）①問い合わせ：企業に連絡し、回収・送付方法の確認  ②よびかけ：ポスター制作、全校生徒へのよびかけ、掲示物作成、箱の準備  　③当日：箱を置く（設置・巡回・回収）　④集めた服をまとめ送付する |
| 確認・課題  調べること | （例）・企業に送付先、送料の負担を確認する。・支援先をWebから調べる |

STEP2　自分の企画のアピールポイントを2つ以上、箇条書きで書きましょう。

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
| ２．企画　チャリティで行動することを企画を提案しよう　～ポスター編～ |

STEP1　ポスター（画用紙）に自分の企画をわかりやすくまとめるための準備をしよう

　　　　下の下書き用紙を使ってレイアウトを考えてください。

|  |  |
| --- | --- |
| レイアウト見本 | レイアウト下書き用紙 |
| タイトル  企画説明    参考  準備手順  図  アピール |  |

STEP2　下書きを参考に、ポスター（画用紙）を制作しよう